

オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査
文化を通じた機運醸成試行プロジェクト 一次採択案件（8件）概要

実施団体： 公益財団法人 日本相撲協会

予定事業名： 大相撲国際文化交流イベント「大相撲beyond2020 場所
（案）」

実施時期： 2016年10月

場 所： 東京都

概 要：

日本文化の体現者たる「相撲」の国際発信力や障がい者のアクセシビリティを強化するべく、拵席を外国人客で埋め尽くし、外国語対応が可能な和装スタッフによる対応、英語による解説など配した一日特設イベントを行うとともに、プロジェクトを通じ多様性に応じた導線のあり方、座席位置、案内等の運営検討、実証的データを整備するとともに、日本文化や大相撲の魅力を国内外に発信し、機運醸成につなげる。

効果・検証方法：

- ・ 外国人による日本文化への理解促進、障害の程度や多様性に応じた運営方法を検討し、国内での共生社会の実現につなげる。
- ・ 参加者に対するアンケート等を通じた評価により、効果検証を行う。



実施団体： 公益財団法人 山本能楽堂

予定事業名： 新作能「水の輪」～水を大切に作る気持ちで世界をひとつに（仮称）

実施時期： 2016年11月1日

場 所： 大阪府

概 要：

水を大切に作る気持ちで世界を一つにするべく、水の浄化をテーマに環境問題について考える新作能「水の輪」を公演するとともに、ワークショップを開催する。公演では、こども達と一緒に外国人が母国語で参加することで、能の舞台を世界へと広げる。

効果・検証方法：

- ・ 多様な社会の実現に向けて、子供や外国人も参加可能な能を上演し、日本の伝統芸能を単に観るだけでなく、自ら参加・体験するという機運を醸成。
- ・ 参加動員数、メディア露出等を通じて効果検証を実施。



実施団体： 超人スポーツ協会

予定事業名： 第一回超人スポーツゲームズ

実施時期： 2016年9月、11月

場 所： 東京都内もしくは神奈川県横浜市内



概要:

得意・不得意や年齢、障がいを問わず、誰もが楽しくスポーツを創り楽しむことを目指し、新たなスポーツの創造、体験会を開催。日本の文化と技術が融合した新しいスポーツのあり方を世界に発信することで、新たなスポーツ創造文化の醸成を図る。

効果・検証方法:

- ・ 超人スポーツ競技の体験会を通じ、自らの手で新しいスポーツを生み出すことの意義や楽しさを来場者と共有し、最先端の技術と文化が融合した新たなスポーツ文化として競技種目の拡充を図る。
- ・ 競技開発者・プレイヤー・観戦者など様々な立場の参加者に対するアンケートおよびインタビューにより効果を測定。
- ・ メディアやインターネット上での波及効果と、視聴者からのフィードバックを収集。

実施団体: 一般社団法人LIGHT UP NIPPON

予定事業名: LIGHT UP NIPPON 全国一斉花火

実施時期: 2016年8月11日

場 所: 国内各地

概要:

日本を代表する文化の一つである「花火」を、複数カ所で同日同時刻に一斉に打ち上げる。「2020年の全国一斉花火打ち上げ」を目標とし、そこに向かう過程を通じ、多くの地域と連携し、たくさんの人に参加してもらうことで、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会への関心を高め、機運醸成につなげる。

効果・検証方法:

- ・ 東日本大震災の被災地から始まった一斉打ち上げ花火が全国に波及することで、東北の復興の後押しとなるとともに、全国各地の地域コミュニティの活性化につながる。また、地域の伝統芸能、食も絡めてPRすることで、地域ブランドの向上につながる。
- ・ メディアでの露出効果を広告換算ベースで測定し、経済効果、PR効果を検証。
- ・ 花火大会終了後、各地の実行委員メンバーや花火師、全国の自治体関係等を集めた報告会を行い、2020年の全国実施に向けたネットワーキングと機運醸成を図る。



実施団体: 株式会社福島民報社

予定事業名: 風とロック芋煮会2016白河の関ステージ

実施時期: 2016年9月18, 19日

場 所: 福島県

概要:

「風とロック芋煮会」は東北に古くからある芋煮会を機軸に、福島に関連のある著名人を通じて「元気な福島」を発信してきたが、この中で、福島の写真パネル展、パラリンピアンが登壇するトークショー、様々な意識アンケート調査等を行い、「日本で最も心のバリアフリーを実現したイベント」を目指す。



効果・検証方法：

- ・ 写真展で「風とロック芋煮会」の歴史に触れ、音楽、野球、落語などエンターテインメントを通じて、福島の住人が福島の魅力に自ら気づき、その魅力を世界の方々へ発信する一助とする。
- ・ パラリンピアンとの出会いは、大震災によって発生した様々な問題に今なお直面している福島県の方々に逆境に立ち向かう希望と勇気象徴になり得るもので、2020年オリパラ大会への機運を醸成していく。
- ・ 1万5千人の来場を見込んでいる会場で、来場者・福島県民の意識調査を計るアンケート調査を実施（障がい者や外国人等のために取組んでいること、障害の有無にも関係なく誰でも心地よく過ごせる空間を作るため必要なことは何か、福島県が震災から復興していく過程で今よりも元気になっていくために必要なことは何かなど）。

実施団体： 東京ハーヴェスト実行委員会

予定事業名： 東京ハーヴェスト

実施時期： 2016年11月12日(土)、13日(日)

場 所： 東京都

概 要：

食の恵みに感謝し、作り手が感謝される国をつくることを目的とした収穫祭「東京ハーヴェスト」において、食材で装飾したトラック（HARVEST CAR）で全国各地の生産者にありがとうを伝えながらイベント会場まで行脚する。また、都内では農業を身近に感じる機会が少ないという課題意識から、収穫体験や農業機器を体験する機会を設けることにより、生産者や農業の活性化、「おいしい日本」の国内外への発信につなげる。

効果・検証方法：

- ・ 農業を身近に感じられる体験コンテンツを提供し、日本の生産者や農業を活気づけ、オリパラ大会を見据え「おいしい日本」を国内外に強く印象づける効果。
- ・ 食文化の土台となっている生産者に感謝する文化を育み、生産者がより注目され、生産者を増やすことにつなげる。
- ・ 各イベントへの来場者数、メディア露出数で効果検証を行う。



実施団体： スロームーブメント実行委員会

予定事業名： 共創社会実現のための舞台芸術プロジェクト

実施時期： 2016年9月～12月

場 所： 東京都、神奈川県、静岡県、大阪府

概 要：

ロンドン大会では、障がい者アーティストに焦点を当てた文化プログラム等の社会的インパクトが認められている。大会成功に欠かせない要素の1つである、障がい者パフォーマーやアーティスト等の育成と環境整備に向け、ワークショップや人材育成を行い、パフォーマンスを通じて検証し、その成果を映像などを通じて発信する。



効果・検証方法：

- ・ 障がい者パフォーマー、パフォーマンス支援ができる人材の育成。また、支援人材育成方法を確立する。
 - ・ 障がい者パフォーマーの育成と環境整備の必要性を一般市民に訴求する。
 - ・ 参加者に対するアンケート等を通じた評価により、効果検証を行う。
-

実施団体： 鳥取県

予定事業名： 東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者
アートフェスタ2016

実施時期： 2016年10月

場 所： 鳥取県

概 要：

障がい者の芸術文化活動の振興を目的とした「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」の取組みと連動し、「障がい者アートフェスタ2016」を開催。障がい者アートの発表、講演会、パネルディスカッション等を通して障がい者への理解・関心を深める。

効果・検証方法：

- ・ 障がい者の芸術文化活動の成果を発表する機会を通して、芸術文化活動に取り組む新たな障がい者を増やし、障がい者の自立と社会参加を促進させる効果。
 - ・ 障がい者への理解促進を図り、お互いを尊重して支え合いながら生きていく共生社会の実現に寄与する効果。
 - ・ 来場者数カウントや来場者へのアンケート調査等を実施し、観覧によってどのような意識変化が起きたのか、来場を増やすための事業のあり方などの効果検証を行う。
-

